

NEWS23 週刊報告 ダイジェスト版

対象番組：NEWS23(TBS)

対象期間：2/10～2/14

・2/10(月)

国会、秋元被告の保釈などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、国会については他の放送日との合わせての判断が必要と考えられるものでした。なお、国会については検証者の所感を記しました。

・2/11(火)

ご飯論法と桜を見る会、米朝会談、アメリカ大統領選挙などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、放送法に反する場面は特に見られませんでした。なお、ご飯論法と桜を見る会については検証者の所感を記しました。

・2/12(水)

コネクティングルームとヤジ、アメリカ大統領選挙、IR 疑惑、気候非常事態宣言が国会決議へなどについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、コネクティングルームとヤジについては他の放送日との合わせての判断が必要と考えられるものでした。

・2/13(木)

国会論戦などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、放送法上は特に問題は見られませんでした。また国会論戦については検証者の所感を記しました。

・2/14(金)

検察官の定年延長、政治とカネなどについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、放送法上は特に問題は見られませんでした。検察官の定年延長については検証者の所感を記しました。

※検証の詳細は次ページ以降の「詳細版」に掲載されている各放送日の報告書をご覧ください

放送法遵守を求める視聴者の会

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2020年2月10日
出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、石井大裕 牧嶋博子（TBS 報道局解説室長）		
検証テーマ：国会、秋元被告の保釈		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス ・アカデミー賞に韓国映画 ・国会 ・楽天送料無料問題で公正取引委員会が立入検査 ・秋元被告の保釈 ・冷凍庫に靴のコンビニの新業態 ・チャーター機の第五便を週末にも派遣 ・勝浦の滞在者が早ければ明後日にも帰宅 ・五輪マラソンチケット払い戻しの方法が決定 ・スポーツ報道 ・湖東記念病院事件で元看護助手の無罪確定 ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国会：結論→他の放送日との合わせての判断が必要 <p>小川キャスターの「桜を見る会の文書を巡って公文書管理を担当するこちらの北村大臣が答弁で、連日委員会が紛糾しています。」とのコメントを受けて、以下に朱記したようなVTRが取り上げられた。</p> <p>北村誠吾（地方創生相）「ただいま、大急ぎで整理をしていますので、ちょっと時間をください。」</p> <p>ナレ「政府が国会に提出していた桜を見る会の推薦者名簿の一部が白く消されていた問題、これが改ざんではないのかと問われ、先週から不安定な答弁を繰り返すのは公文書管理担当の北村大臣です。」</p> <p>北村誠吾（地方創生相、公文書管理を担当）「ある文書を修正して別の文書を作成すること、それらが別のものとなるように保存しておくことはありうる。」</p> <p>ナレ「北村大臣はこれまで、白く塗り消した文書も公文書だから問題ない、という答弁を繰り返してきました。ただ公文書管理法のガイドラインは内容が変更される場合、その更新日時などが判別できるよう明示する、とあります、しかし政府が提出した名簿にはそのような記載がありません。」</p> <p>山井和則（「立国社」会派、衆院議員）「新たな文書を作った際にちゃんと、ここをいつ誰の責任で変えましたということを明記しなさいということを公文書管理法のガイドラインに書いてあるんですよ。」</p> <p>北村大臣「今後、官房人事課において適切なファイルを作成し、来年度より、保存することになるということであり、今までのところにつきましてはご容赦賜りたい。」</p> <p>山井和則「だめですよ。だめ、だめ。ガイドラインに違反しているかどうか聞いているのに、」</p> <p>ナレ「ついに大臣をサポートするため内閣府の事務方が政府参考人として委員会に答弁に立ちます。」</p>		

"渡邊清（内閣府大臣官房総括審議官）「原本と別にして翌年度起算日からきちんと保存していれば公文書管理法条の違反ということではございません。」

山井和則「白塗りがガイドライン違反かどうかというのは公文書管理のいちばん大切なところなんですよ、そこを大臣が答えられなくてどうするんですか。」 "

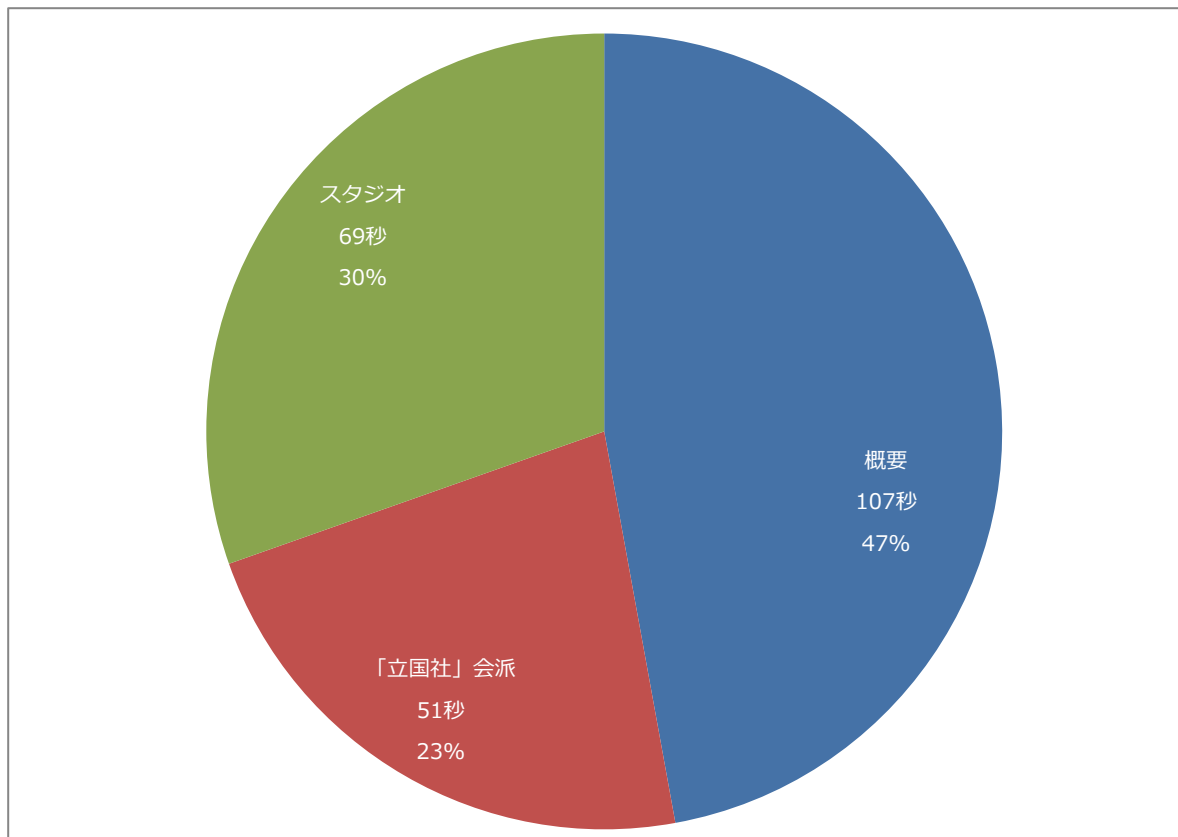
VTR を受けてスタジオで以下に朱記したやりとりが繰り広げられた。

"小川彩佳「公文書管理の問題は森友加計問題でも大きな焦点でしたし桜を見る会をめぐっても総理はさらなる徹底をと約束していますのに肝心の担当大臣がこうでは、政権本当に真面目に取り組もうとしていますと言いたくなっちゃいますね。」

星浩「そうですね、北村大臣は当選 7 会、岸田派の人で、まあいわゆる入閣待望組の一人ですってね、岸田さんが強く推薦をして初入閣したということですが、農業とか水産の問題はずっとやってきたんですけれども公文書管理の問題はおそらく素人に近いと思うんですね。まあこの問題はですね、その非常に公文書の問題というのは大事な問題なんですけれども、いかにこの安倍政権が公文書の管理をあまり重く見ていないということが現れている典型的な人事だという気がしますね、この桜を見る会、これからもずっと審議が続きますので、ちょっと北村さんには荷が重いということですから、この公文書管理の問題は別の大臣にちょっと移してですね、それでまともな審議ができるように体制を整えてもらいたいと思いますね。」

小川彩佳「まともな審議をお願いしたいですね。」 "

このトピックに当てられた時間は 227 秒で、時間配分及び比率は以下の通りであった。



今回取り上げられた質疑は「立国社」の質疑のみだった。他の放送日との判断が必要と考えられる。

・秋元被告の保釈：結論→特に問題なし

ナレーションによって「収賄の罪で起訴された衆院議員の秋元司被告について東京地裁はきょう、保釈を認める決定をしました。保釈保証金 3000 万円はすでに現金で納付されていますが、検察側が保釈決定を不服として準抗告しています。東京地裁が再度保釈を認めれば秋元被告は保釈されることになります、関係者によりますと秋元被告は起訴内容を全面的に否認しているということです。」とのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 34 秒で、放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

・国会

最近、NEWS23 で維新の会の質疑が報じられることが見られないが、なぜ維新の会の議員の質疑を取り上げられないのだろうか。非常に気になるところである。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2020年2月11日
出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、石井大裕		
検証テーマ：ご飯論法と桜を見る会、米朝会談、アメリカ大統領選挙		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型肺炎 ・ 野村克也さん死去 ・ ご飯論法と桜を見る会 ・ オーストラリアで洪水 ・ 米朝会談 ・ アメリカ大統領選挙 ・ スポーツ報道 ・ 新型コロナウイルスのクルーズ船感染者の約8割が60代以上 ・ 天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ご飯論法：結論→特に問題なし <p>スタジオで「ご飯論法」について、以下に朱記したようなやり取りが繰り返された。</p> <p>小川彩佳「さて、続いてのニュースに参ります。今日は祝日で国会はないんですが、この機会にまた別の角度、いつもと違った角度から国会を見ていきましょう、ということで、みなさんは一昨年新流行語大賞にノミネートされたこちらの言葉、ご存知でしょうか。ご飯論法、これ国会答弁のあり方を皮肉った言葉なのですがどういものなのかといいますと、山本さん、。」</p> <p>山本恵里伽「はい、」</p> <p>小川彩佳「朝ごはん食べてますね。」</p> <p>山本恵里伽「いいえ、ご飯は食べてないです。」</p> <p>小川彩佳「え、今食べようとしてたじゃないですか。」</p> <p>山本恵里伽「いやいや、ご飯は食べてないですよ。」</p> <p>小川彩佳「いや、いま、パン食べてましたよね。」</p> <p>山本恵里伽「朝ごはんを食べたのか聞かれてお米のご飯は食べていないのでご飯は食べてませんと答えたんです。」</p> <p>小川彩佳「ああ、だから噛み合わないのか。」</p> <p>山本恵里伽「そう、ほんとうにかみあわないですね、いわゆるこれがご飯論法と言われているものです。」</p> <p>小川彩佳「皆さんおわかりいただけたでしょうか。なれないことをするとこういう空気になります。」</p> <p>山本恵里伽「そうですね、演技力の限界でした、失礼いたしました。」</p> <p>小川彩佳「というわけで、今夜はですね、この御飯論法という言葉の生みの親でいらっしゃいます法政大学の西充子教授にお越しいただきますよろしくお願いたします。」</p>		

"上西充子（法政大学教授）「よろしくお願ひします。」

小川彩佳「上西さんはより多くの方に国会の答弁を見ていただくということで、都心の路上で都心の路上で国会パブリックビューイングを行っていらっしゃる、これどういう思いからなんですか。」

上西充子「あの、国会のやり取りっていうのはわかりにくいんですけどもなんでわかりにくいかというと、野党の指摘に対してまともに答えない、で不都合なことを隠しながら答えるんですね、で、そこでその隠されているものが何かということを見極めないと、私たちにとって非常に重要なことが見えてこない、それを明らかにしたいので、そういう活動をしています。」

小川彩佳「白いご飯を食べているっていいはることで、パンを隠しているような答弁がたくさんあるっていうことですね。」

上西充子「そう、大事なパンはなんなのか、っていう話ですね。」

小川彩佳「というわけで早速見てまいりましょう。まずはですね今国会で話題となったこちらの2つの答弁からご覧ください。」 "

やり取りを受けて以下に朱記したようなVTRが取り上げられた。

ナレ「桜、未だ散らぬ国会、先月、総理のある答弁で国会がざわつきました。」

"宮本徹（共産党衆院議員）「幅広く募っていると募集をしているとこれ募集をしているわけですよ。」

安倍晋三「あの、私はですね、幅広く募っているという認識でございました。募集しているという認識ではなかったということですね。」 "

ナレ「次は、桜を見る会の前夜祭をめぐる答弁、安倍事務所がホテルと契約していたかどうかを迫及されると。」

"大串博志（立憲民主党衆院議員）「これは誰が、ホテル側と結んだんですか、安倍総理の事務所の皆さんではなかったのですか。」

安倍晋三「契約というのは私は訂正させていただきたいと思ひます、契約の主体はこれは参加者である。」

大串博志「契約ということではなかったと。なんだったんですか」

安倍晋三「それは合意、合意をしていると。」 "

VTRを受けて以下に朱記したようなやり取りが繰り広げられた。

"小川彩佳「はい、募ってはいるが募集はしていない、契約ではなく合意をした、これはご飯論法ですか。」

上西充子「いや、これは誰が見てもおかしいとわかる気がしたんですよ。で、パッと見てわからないものを読み解くのがご飯論法なんですね。」

小川彩佳「はあ誰が聞いてもおかしいとわかるものはご飯論法ではない。うーんこれは一つ失敗例」

上西充子「ごまかそうとしていて、ごまかしに失敗したと。」

小川彩佳「ごまかしきれなかったというわけですね。ご飯論法というのはもっと厄介。」

上西充子「巧妙ですね、もっと。」

小川彩佳「巧妙なそのご飯論法、じゃあいったいどういうものなのか、上西さんが認定されたものの中からまずはですね去年の11月8日、まさにその桜を見る会の論戦が始まった日のこちらのやり取りをご覧ください。」

上記のやり取りを受けて、以下に朱記したようなVTRが取り上げられた。

"田村智子（共産党参院議員）「総理ね、つまり自民党の閣僚や議員の皆さんは後援会支援者の招待枠、これ自民党の中で割り振っているんじゃないですか、これ総理でなきゃ答えられないお答えください、総理お応えくださ

い、総理でなきゃ答えられない、総理でなきゃ答えられないでしょ。」

安倍晋三「いや、あの今説明しますから、招待者については内閣官房及び内閣府において最終的に取りまとめをしているものと承知をしております。私は主催者としての挨拶や招待者の接遇は行うのでありますが招待者の取りまとめ等には関与していないわけでありまして。」

VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返された。

"小川彩佳「はい、今のやり取りを文字にしたのはこちらのものですがけれども、やはりまあちょっとわかりにくいというか、。」

上西充子「わかりにくいですね。」

小川彩佳「はぐらかしているのかな、というところまではわかるんですけどもこれどういうことでしょうか。」

上西充子「要するに後援会の関係者を呼んだでしょということを田村議員は聞いているんですけどもあたかもそういうことには関わっていませんというような答弁なんです。一見するとそうなんですけれども、実はとりまとめ等にはというように狭く解釈することによって、ご飯を食べてないといいながら後援会の人を集めたということを隠している話ですね。」

小川彩佳「じゃあパンというのはどういうことになるのか。」

上西充子「後援会の方々を安倍事務所が参加を広く募っていた、これあとから分かってくるんですけどもこの時点ではこういう文書もなかったものですからまあごまかせるというふうに思っていたのだと思います。あとからはね、推薦者について意見を言うこともあったとだんだん答弁が変わってくるんですね。」

小川彩佳「これが隠したかったこと。」

上西充子「隠したかったこと。」

小川彩佳「ちょっと一つ前に戻していただけますか。というわけでこれ招待したでしょ、後援会の支援者の方々をという質問に対して、それには直球で答えず」

上西充子「答えず、で、あたかも何も食べていないかのように、あたかも全然関わっていないかのように答えた、と。」

小川彩佳「うーんなるほど、ひたすら答えないというところに終止した、白いご飯は食べていませんよということを書き通そうとした。というわけなんです。はい、ではこのご飯論法の上級編と言ってよろしいんでしょうか続いてに参りたいと思うんですが、桜を見る会に安倍総理がじゃあ誰を推薦していたの感について政府は名簿を廃棄しているからわからないと突っぱね続けたわけですね、そのためまあ疑惑の解明がなかなか進まなかった、ではじゃあ名簿は捨てたとしても安倍総理が誰を推薦したかわかる他の記録は残っているでしょ、というそうした議論がありました、こちらがその VTR です。」

このやり取りを受けて、以下に朱記した VTR が取り上げられた。

"安倍総理「事務所に確認をしたところですね推薦者名簿はすでに廃棄している、それ以外に桜を見る会の招待を確認できる名簿などは作成はしていない。」

小川淳也（「立国社」会派衆院議員）「仮に推薦名簿を形の上で総理事務所で廃棄していても、おそらく総理の後援会名簿には克明に何年おさくらの会参加者ということが記録されているはずだと思います。」

ナレ「小川議員の問いは名簿が歩かないかではなくて記録があるかないか、仮に招待者や推薦者名簿そのものがなくても参加が確認できる何らかの記録は残っているはずだと聞いたのです、すると。」

安倍総理「ただいま、答弁をさせていただいたとおりでございます。」

上西充子「だから、ご飯を食べていないのはわかりました、と。パンを食べたでしょとっているのに先程の答弁のとおりですと、答えたくないのですよ、まずいことを聞かれたな、と。」

"小川淳也「それは後援会名簿には記録は残っていない、たどりようがないということですか。」

安倍総理「先ほど答弁させていただいた通り、でございます、作成したものについて残っていないということでございます。」

小川淳也「後援会名簿の本体に記録が残っているでしょ、ということの確認をお願いします。」

安倍総理「桜を見る会の招待を確認できる名簿は作成していない、ということでございます。」 "

VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返された。

"小川彩佳「うーん、かみあっていないのはわかるんですけどもじゃあ、どういうところですれ違っているのか。」

上西充子「小川淳也議員はもうパンを食べたでしょと指摘をしているんですね、後援会の名簿というのは当然あるからその中に参加の希望を出した人の記録はあるはずだ、だから名簿がなくてもその記録から復元はできるはずだということを知っているんですけども、あくまでパンについては答えたくないなので招待者名簿は作成していませんとか、募集の段階ではなくて招待の段階にして話を反らせてあたかもこちらの話はないものにしてしまう答弁ですね。」

小川彩佳「たしかに小川議員は何度も記録はあるんじゃないですか、と聞いているのですけれども、それに対して名簿は作っていません、そういう言い方でこう答えているわけですね。」

上西充子「これが招待というのがずるいんですね、」

小川彩佳「はあ、」

上西充子「募集をして推薦をして、招待をするとこのプロセスのここの最初の募集のプロセスを聞いているのに招待のプロセスを答えるという話をそらしている。」

小川彩佳「募集があって推薦があった、その記録が残っているでしょということを知っているのに、招待の記録は作成していない。」

上西充子「招待はもう内閣府の話ですからね。」

小川彩佳「この答弁しかない、とその前の段階の記録についてはなかなか答えない。」

上西充子「だからいくら聞き方を変えても答える気がないんです。」

小川彩佳「これ続きですけどもこれひたすらそうですよね、記録が残っているんじゃない中。」

上西充子「パンのことは絶対に答えないっていうのがこのご飯ロンプです。」

小川彩佳「記録ということには一切言及しない総理の姿。」

上西充子「あくまで答えない。」

小川彩佳「ありますよね、まあこの桜を見る会を巡ってはこの番組でも連日お伝えしていますけれども、こうした答弁が何度も続くのでお伝えする側も疲れてしまうところがあるんですけどもやっぱりこの答弁を放置してしまうとそれを黙認することになっちゃうんじゃないかなというふうに思っちゃうんですね。」 "

"星浩「やっぱりね、この問題なのは、桜を見る会の質問に対する答弁のずらし方というものもあるんだけどこれは上西先生の専門ではなく、労働問題なんかでもその同じことが繰り返されてきているんですね。」

上西充子「そうなんですよね、桜の問題だけではなくて働き方改革のときも私たちの働くルールを変える、そう

いうときも野党の指摘で裁量労働制を拡大したら過労死増えるでしょ、とそういう話に対して答えないで、いやいや上限規制やるんです、というような話をそらして不都合なことを隠してた、そういう問題なんですね。」

星浩「私もずっと国会のやり取り聞いていますけれども例えばその北方領土問題、安倍総理は明らかにその二島返還にかじを切っているのにそれは切っていないということをいまして、しかしその経過については一切説明しないというのが続いているんですね、以前であればこの質問に対してまともに答えないと国会が紛糾して止まるケースが多かったんですけども、今どうもその国会が自民党公明党の数の力で押し切られてしまうというケースが続いているわけですね、そういう点では我々メディアももうちょっと国会の中身をきちんと紹介しつつチェックをしていくという役割を果たす必要があるのですが、先生がやられているパブリックビューイングもね、非常にそういう意味では大きな役割を担っていますよね。」

上西充子「やっぱりまともに答えさせるといことがないかどうかという問題も同じ風に話がはぐらかされてしまいますのでね。」

小川彩佳「はぐらかしだったりごまかしだったりその先にあるものが何なのかというところを見ながら。」

上西充子「そこがちゃんと質疑で成り立たないといけない。」

小川彩佳「チェックしなければいけない。はい、先生どうもありがとうございました。」

このトピックに当てられた時間は 726 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・米朝会談：結論→特に問題なし

ナレーションによって「アメリカの CNN テレビはトランプ大統領が 11 月の大統領選挙の前に北朝鮮の金正恩委員長と会談することは臨んでいないと伝えました。CNN は関係者の話としてトランプ氏は再選に向けて焦点を合わせているので北朝鮮の非核化問題に取り組む意欲が衰えたとしています。」とのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 24 秒で、放送法上は特に問題は見られなかった。

・アメリカ大統領選挙→特に問題なし

小川キャスターの「アメリカ大統領選挙です。トランプ大統領に挑む民主党の候補者レースが激しくなっています、予備選挙の投票が行われている東部ニューハンプシャー州から中継です。」とのコメントを受けて以下に朱記したような中継の VTR が取り上げられていた。

土居一雄（報告）「はい、こちらはニューハンプシャー州の投票所です、投票開始から 3 時間半が過ぎましたが若者から高齢者まで幅広い層の有権者が訪れていて、関心の高さが伺えます。有権者はあちらで投票用紙を受け取り衝立の中で支持する候補者をマークシートでチェックする方式です。最新の世論調査ではニューハンプシャー州の隣のバーモント州が地元であるサンダース氏が地の利を生かして支持率トップに立っています。また、初戦で暫定一位となったブディジェッジ氏も急速に指示を伸ばしていて第二戦もこの 2 人を軸とした争いになりそうです。」

有権者 A「サンダース氏に投票することに決めた。彼は最も誠実な人だと思う。」

有権者 B「ブディジェッジ氏に投票した。彼鉢に足がついているし何かを成し遂げてくれると思う。」

土居一雄「一方、ウォーレン氏とバイデン氏はここで踏みとどまれば厳しい状況に追い込まれるため、昨夜は懸命に最後の訴えを行いました、日本時間の明日昼ごろに体制が判明する見通しで、今回の結果次第では四

人の本戦の候補者レースが早くも2人に絞られる可能性があります。」

VTRを受けてスタジオでは以下に朱記舌やり取りが繰り広げられた。

"小川彩佳「序盤の山場ですけれども星さんどうご覧になりますか。」

星浩「はい、この地図を見てもらいたいですけれども、そのニューハンプシャーってのは隣がバーモント州、西隣りがサンダースさんの地元なんですね、日本で言うとのその岩手県と秋田県みたいな感じでサンダースさんが有利ということで今度そのブディジェッツさんがサンダースさんに食らいついているようですと、こうかなり有力ということになると思いますし、バイデンさん四位ということになると撤退という二文字がそろそろ浮かんでくるかもしれませんね、そういう意味では非常に大きな節目の選挙になるかもしれませんね。」"

このトピックに当てられた時間は138秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

・ ご飯論法と桜を見る会

スタジオで星キャスターが「やっぱりね、この問題なのは、桜を見る会の質問に対する答弁のずらし方というものもあるんだけどこれは上西先生の専門ではなく、労働問題なんかでもその同じことが繰り返されてきているんですね。」とコメントしていたが、まさにそのとおりで、そもそもこの「ご飯論法」という言葉自体が働き方改革をめぐる当時の加藤勝信厚生労働大臣の答弁のあり方に対して言われたことである。

しかし、今回の取り上げ方ではいかにも安倍総理の答弁がメインであるかのような印象を受ける伝えられ方であった。なぜ、そもそも「ご飯論法」が言われたしたきっかけから取り上げないのか、やや違和感を覚えた。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2020年2月12日
<p>出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、石井大裕 牧嶋博子（TBS 報道局解説室長）</p>		
<p>検証テーマ：コネクティンググループとヤジ、アメリカ大統領選挙、IR 疑惑、気候非常事態宣言が国会決議へ</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス ・コネクティンググループとヤジ ・アメリカ大統領選挙 ・IR 疑惑 ・ソフトバンク 営業赤字 ・気候非常事態宣言が国会決議へ ・ノムさん献花台に多くのファン ・スポーツ報道 ・武漢からチャーター機の第一便での帰国者が全員帰宅 ・天気予報 ・クロージング（アメリカ大統領選挙について） 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コネクティングとヤジ：結論→他の放送日との合わせての判断が必要 <p>"小川キャスターの「さて続いて国会ですが、今日はかなり紛糾する場面があったようですね。」とのコメント、山本キャスターの「はい、そうなんです、集中審議では総理補佐官と厚生労働省幹部のある関係が公私混同ではないかと追及されたんですが議場が騒然となったきっかけは総理のヤジでした。」とのコメントを受けて以下に朱記した VTR が取り上げられた。</p> <p>辻元清美（立憲民主党幹事長代行）「税金使ってなんかしらんけど、ねえ、まあラブラブ旅行じゃないけどね、なにやってるんですか。」</p> <p>ナレ「問題となっているのは菅官房長官の懐刀と言われる和泉総理補佐官と厚労省の大坪審議官のある関係について。大坪氏といえば、。」</p> <p>大坪寛子（厚生労働省大臣官房審議官）「厚生労働省と致しましては、乗員乗客の皆様方の健康状態の確認というものを最優先……」</p> <p>ナレ「新型コロナウイルスの国内艦船を巡って厚生労働省の記者会見に対応する審議官。その大坪氏と和泉補佐官の過去の海外出張についてこんなやり取りが。」</p> <p>早稲田夕季（立憲民主党衆院議員）「まあ2年前のインド出張についてコネクティンググループというところに、大坪次長と和泉室長がお泊りになったと、これについて事実でしょうか。」</p> <p>ナレ「コネクティンググループとは隣り合う部屋同士を内側から互いに行き来することができる部屋のこと。野党側の指摘について大坪氏は」</p> <p>大坪寛子「大変体調を崩されまして、秘書官からの連絡を受けられる場所、ということで補佐官のお部屋を秘書</p>		

官と私で挟む形で万全の体制を取ると。」

ナレ「体調面に不安のある和泉補佐官と医師免許を持つ大坪氏を隣り合わせにすることで万全の体制をとったというのです。ただ、2人の海外出張はこれだけではありません。こちらは和泉補佐官のミャンマー訪問を伝える現地のニュース。大坪氏と見られる人物も写っています。」

"山井和則（立国社会派、衆院議員）「残りの三回の海外出張、ミャンマー、中国。フィリピンではお二人はコネクティングルームでしたか、いかがでしたか。」

田村政美（外務省大臣官房参事官）「和泉補佐官と大坪審議官のお部屋は隣同士であり、またコネクティングルームでございました。」 "

ナレ「税金を使った公務でコネクティングルームを使用することは公私混同ではないのでしょうか。」

"辻元清美「普通の会社だとですね、これもしも和泉補佐官がコネクティングルームに女性官僚を入れたらこれはパワハラ・セクハラになるんです、合意だったら職権乱用ですよ。」

菅義偉（官房長官）「公務として必要な手続きをとって適切に対応しているというように思っています。」 "

ナレ「このあと、辻元議員の発言に対し総理が発したヤジで、委員会室は混乱します。」

"辻元清美「鯛は頭から腐るという言葉をご存知ですか。ここまで来たら原因は鯛の頭、頭を変えるしかないんじゃないですか。」

安倍総理（ヤジ）「意味のない質問だよ！」

辻元清美「今、意味のない質問と言ったんですよ。」

ヤジ「委員長！注意してください！なに言ってんだよ！」 "

"逢坂誠二（立憲民主党政調会長）「国会そのものが馬鹿にされているんですよ、後ろ向いて今、質疑者が帰ろうとしている、追い打ちをかけるようにあんな事を言うなんてのは言語道断。」

安倍総理「罵詈雑言の連続だったわけですよ。頭から腐ると、腐っている本体は私であると、こんなやり取りは無意味ではないか。ということをお願いしたわけでありますが、それは当然そう思うじゃないですか。」 "

VTRを受けて以下に朱記したようなやり取りが取り上げられた。

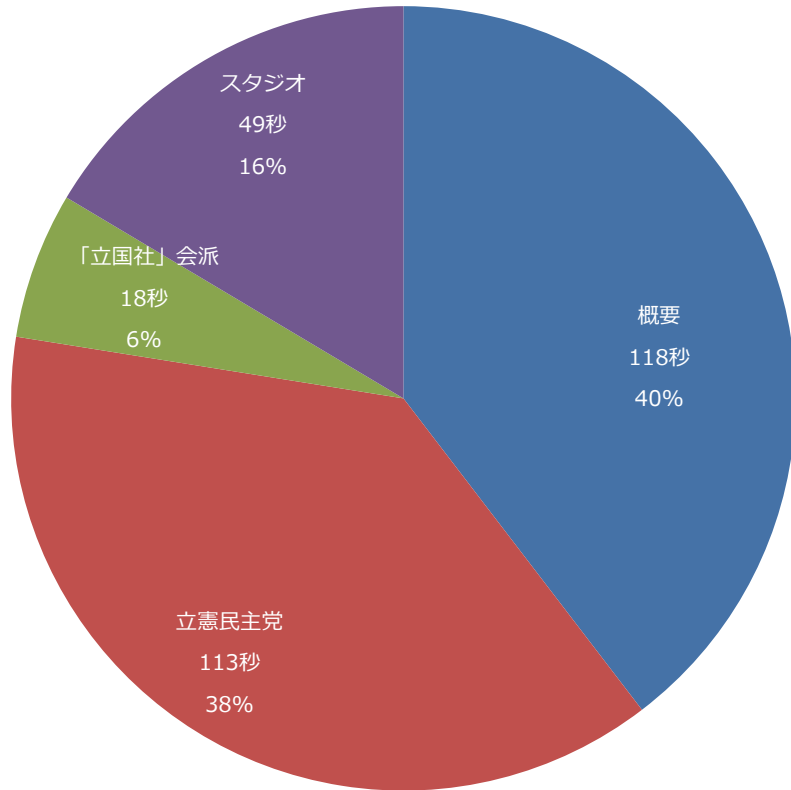
"小川彩佳「総理のヤジをきっかけに紛糾した今日の委員会でしたけれど、野党はこの総理の補佐官である渦中の和泉氏の出席を求めたようなんですけども、今日の出席はありませんでした、これどうしてなのでしょう。」

星浩「そうですね、和泉さんは4回そのコネクティングルームを使っている、外務省も認めているわけですが疑惑がないというなら、国会に出て説明すれば印ですけれども自民党が反対して出席を拒んでいるみたいですね。和泉さんという人は内外の政策に非常に影響力を持っていますね、しかし一方で国会には出なくていいという、影響力と説明責任のバランスが崩れちゃって。」

小川彩佳「そうですね。」

星浩「これ、安倍総理の補佐官ですから安倍総理が責任を持って国会で説明をさせる、ということをしてもらいたいと思いますね、野党に野次を飛ばしている場合ではないと思いますね。」 "

このトピックに当てられた時間は 298 秒で、時間配分及び比率は以下のとおりであった。



こうした政党別の質疑の取り上げ方が放送法の観点から問題があるかどうかは、他の放送日と合わせての判断が必要と考える。

・アメリカ大統領選挙：結論→特に問題なし

小川キャスターの「11月のアメリカ大統領選に向けた予備選挙です、民主党の候補者選びのレース、初戦はまあ無名と言っていいような新人のブディジェッジ氏が暫定で一位、僅差でサンダース氏が追いかけるという展開でした、第二戦となった今回もこの二人の候補の大激戦となったようです。」とのコメントを受けて以下に朱記したようなVTRが取り上げられた。

ナレ「民主党の候補者選びで序盤戦の山場となるニューハンプシャー州の予備選挙。」

サンダース（民主党候補、上院議員）「この選挙はドナルド・トランプの終わりの始まりだ。」

ナレ「勝ち名乗りを上げたのは急進的な左派政策で任期のサンダース上院議員でしたが、注目すべきはあの新星でした。」

"土居一雄「ブディジェッジ氏は2位となりましたが、1位と大接戦を繰り広げたことで会場は勝利したかのような盛り上がりです。」

ナレ「大本命にわずか2ポイント差をつけたブディジェッジ前サウスベンド市長。」

ブディジェッジ（民主党候補、前サウスベンド市長）「前に進みましょう！これは私たちの唯一のチャンスです。トランプ時代を終わらせるだけでなく、来たるべき次の時代へと踏み出すチャンスなのです。」

ナレ「選挙戦前はいわば無名の新人が初戦アイオワ州の暫定1位に続き、第二戦は2位と大躍進です。」

"ブディジェッジ氏支持者 A「素晴らしい結果です、誰も予想できなかったと思う。」

ブディジェッジ氏支持者 B「間違いなく彼は次期大統領になるね。」 "

ナレ「この 2 人に次いで、3 位に躍り出たのがミネソタ州選出のクロブシャー上院議員

クロブシャー（上院議員）「私はドナルド・トランプに勝ちます。」

ナレ「弁護士出身で中道穏健派、実務的な能力が高く評価されています、一方全国的に知名度の高いバイデン前副大統領は 5 位に沈み窮地に追い込まれています。78 歳のベテランと 38 歳の新星の接戦にこの人は。」

トランプ大統領（Twitter）「ブートエッジエッジ（ブディジェッジ）はかなりよくやっている、クレイジーバーニー（サンダース氏）と互角に戦ってるじゃないか、実に興味深い。」

番組のクロージングでは以下に朱記したようなやり取りが繰り返されられた。

"小川彩佳「さてアメリカ大統領選挙の民主党の候補者選び、第三位にニューフェイスが急浮上してきましたね。」

星浩「そうですね、クロブシャーさんという上院議員なんですけどね、もう急上昇して台風の目になろうとしているんですけども、あの上院議員でね、穏やかな感じなんですけども、実は議会の質問の追及は鋭くてね、脚光を浴びているんですけど、日本とも園がありましてね、アメリカの副大統領をやった日本の大使をやったモンデールさんって方がいるんですけども、そのモンデールさんの事務所で働いていたということがあって、知日派のモンデールさんの事務所ですから、まあおそらく彼女もね、日本については非常に理解が深いんだと思いますね、はい。」

小川彩佳「クロブシャー氏の登場でまたわからなくなってきましたね。」

星浩「ちょっと台風の目ですよ、そういう意味では。」 "

このトピックに当てられた時間は 285 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・ IR 疑惑：結論→特に問題なし

山本キャスターの「IR をめぐる汚職事件で収賄の罪で逮捕起訴された衆議院議員の秋元司被告が保釈されました。」とのコメントを受けて、以下に朱記したような VTR が取り上げられた。

"本杉美樹（報告）「秋元被告の姿が見えました、スーツ姿で多くの刑務官に囲まれています。」

ナレ「秋元司被告は午後 7 時半前、スーツ姿で現れ車に乗り込みました。保釈されるのは逮捕以来、49 日ぶりです。秋元被告は日本で IR 参入を計画していた中国企業側からおよそ 760 万円の賄賂を受け取ったとして起訴されています、保釈保証金は 3000 万円でした、関係者によりますと秋元被告は起訴内容を全面的に否認し、国会に出席する意向を示しているということです。」 "

このトピックに当てられた時間は 55 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・非常事態宣言が国会決議へ：結論→特に問題なし

ナレーションによって「気候変動の問題が世界で顕在化していることから、今の国会で気候非常事態宣言が決議される見通しとなったことが複数の関係者への取材でわかりました、同様の宣言はすでに 1000 を超える国や自治体が表明していて、日本としても気候変動への危機感と対策に取り組む決意を示します、来週には超党派の議員連盟が発足し、決議に向けた議論を始めることにしています。」とのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 32 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

NEWS23 週刊報告 詳細版

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

特になし

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2020年2月13日
出演者：星浩、小川彩佳、山本絵里伽、石井大裕		
検証テーマ：国会論戦		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型肺炎で国内初の死者が発生 ・ 新型肺炎、最前線の医師証言 感染者の特徴は？ ・ 国会論戦 <ul style="list-style-type: none"> ・ 首相による不適切発言の謝罪で与野党合意し、国会正常化へ ・ 歌手の槇原敬之容疑者、覚せい剤所持等の疑いで逮捕 ・ 楽天、独禁法違反の疑いで調査を受けていた新制度について予定通り実施すると表明 ・ スポーツ情報 ・ 天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国会論戦→結論：問題なし <p>山本キャスターの「安倍総理が野党議員に『意味のない質問』とヤジを飛ばしたことで空転していた国会ですが、来週安倍総理が謝罪することで正常化しました」とのコメントを導入に、以下に朱記したVTRが取り上げられていた。</p> <p style="color: red;">安住淳氏（立憲民主党国対委員長）「辻元議員に対してお詫びをすると内閣総理大臣として答弁席からの不規則発言については厳に慎むと必ず申し上げるということで確約をいただきました。」</p> <p style="color: red;">山本キャスター（※ナレーション）「昨日の衆議院予算委員会で立憲民主党の辻元清美議員の質問の直後に、安倍総理が『意味のない質問』だとヤジを飛ばしたことに野党側が反発し、今日午前の審議が完全に止まっています。野党側によりますと、与野党の協議により来週17日の衆院予算委員会で安倍総理が謝罪することで合意したとのことで、これを受けて国会は正常化しています」</p> <p>このトピックに当てられた時間は63秒で放送法上は特に問題は見られなかった。</p>		
<p>最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨</p> <p>特になし</p>		
<p>検証者所感</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国会論戦 <p>安倍首相による前日の衆院予算委員会での野党議員に対する不適切発言について、来週頭と同委員会で首相本人が謝罪をすることで与野党間が合意した、いわば与野党間で「握った」ということであるが、国会審議の空転を最小限に抑え、かつ予算委で謝罪させることによりその内容を議事に残せるという意味で、賢明な対応であったように思える。</p>		

NEWS23 週刊報告 詳細版

現政権の自浄能力に期待するのは酷かもしれないが、謝罪ならびに再発防止に努める旨を議事として残すことにより、今後同様の事案が発生した場合に言行不一致と糾弾する上で重要な材料となりうるのではないか。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2020年2月14日
出演者：星浩、小川彩佳、山本絵里伽、石井大裕		
検証テーマ：検察官の定年延長、政治とカネ		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型肺炎、全国で新たに8人感染 ・ 検察官の定年延長 <ul style="list-style-type: none"> ・ 検察官の前例なき定年延長、『法的根拠』とは？ ・ 政治とカネ <ul style="list-style-type: none"> ・ カジノ汚職で逮捕の秋元議員が緊急会見 ・ 81歳女をひき逃げで逮捕 ・ 米海洋大気庁、今年1月の世界平均気温が観測史上最高を記録したと発表 ・ 当時の同居人が部屋で発見された覚醒剤を榎原敬之容疑者のものと証言 ・ 日本原電、敦賀原発の検査データ書き換えで謝罪 ・ 悠仁さまの机に刃物、男に有罪判決 ・ 東芝、1456億円の最終赤字 ・ バンクシー新作、バレンタインの贈り物？ ・ スポーツ情報 ・ IT大手ヤフー、新型肺炎対策として時差出勤等の施策を発表 ・ プールで園児死亡、元園長らに有罪判決 ・ 天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 検察官の定年延長→結論：問題なし <p>小川キャスターの「続いては、検察 No.2 の検事長の定年を特例で延長する、この問題です」、山本キャスターの「安倍総理は定年延長の規定は検察官には適用されないとしたこれまでの法律の解釈を変更したことを明らかにしました」との各コメントを導入として、以下に朱記した VTR が取り上げられていた。</p> <p>記者「内閣の都合で、立法時の解釈を自由に變更できるということであれば、法的安定性を損なうことになるのではないかという指摘がありますが」</p> <p>菅義偉氏（官房長官）「検察庁法を所管する法務省において、適切に解釈を行い、それを政府として是したものであります」</p> <p>ナレーター「政府は特例として検察庁の事実上の No.2 である黒川弘務検事長の定年を延長することを閣議決定しました。黒川氏はかつていわゆる共謀罪法など官邸肝いりの法を担当。菅官房長官なども近いことから定年を延長し、検察トップの検事総長に据えるのではないかという憶測が飛んでいるのです。」</p> <p>後藤祐一氏（衆院議員、国民民主党）「総理、なんでここまで無理して黒川検事長を定年延長したんですか。「桜を見る会」でご自身の話も色々と言われている、守護神としてやはり残したかったからなんじゃないですか」</p>		

安倍晋三氏（首相）「何か「桜を見る会」を無理矢理刑事訴訟の俎上に載せようとして苦労しておられるのでしょうか、そもそも何とかの勘繰りではないのかなど」

ナレーター「検察官の定年については、検察庁法で 63 歳と規定され、過去に一度も延長されたことはありません。法的根拠について森法務大臣は？」

森雅子氏（法務大臣）「勤務延長については、一般法たる国家公務員法の規定が適用されるものと」

ナレーター「退職により公務に著しい支障がある場合に特例で定年院長を認めた国家公務員法の規定を適用したとの主張。しかし、この法律に定年制度をつくった当時の政府見解は『検察官につきましては今回の定年制は適用されないことになっています』」

山尾志桜里氏（衆院議員、立憲民主党）「少なくともこの当時の見解は、国家公務員法の定年制度は『検察官には適用されないことになっています』と言っております。違法だと思えますよ」

ナレーター「こうした野党側の指摘に政府の担当者は」

松尾恵美子氏（人事院給与局長）「現在までも同じ解釈を続けておりますが」

ナレーター『『最終的には法務省の判断にゆだねる』としながらも、『1981 年の法解釈を現在も引き継いでる』と答弁しました。ところが昨日総理は」

安倍氏「検察官については昭和 56 年当時国家公務員法の定年制は検察庁法により適用除外されていたものと理解しています。他方、検察官も一般職の国家公務員であるため、検察官の勤務延長については国家公務員法の規定が適応されると解釈することにしたところです」

ナレーター「安倍総理は、1981 年当時国家公務員法の定年制は『検察官には適用されない』と解釈していたことを認めましたが、安倍内閣としてその解釈を変更したと明言しました。法律の解釈をその時々によって変更できるのでしょうか。憲法学者の木村教授は」

木村草太氏（首都大学東京教授）「(国家公務員法の定年延長規定が) 検察官に適用されないのは法文上明らかです。法文から読み取れないものを解釈と強弁することを認めてしまえば、行政機関、内閣が行うことは法律に一切拘束されなくなってしまうでしょう。ですから今回の事態は許していけないと思います」

このトピックに当てられた時間は 242 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

なお、本トピックの国会質疑の VTR にて取り上げられた各会派の質問時間は下記の通りであった。

- ・国民民主党(後藤祐一衆院議員)→24 秒
- ・立憲民主党(山尾志桜里衆院議員)→13 秒

・政治とカネ→結論：問題なし

以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

山本キャスター「IR をめぐる汚職事件で、収賄の罪で逮捕され、おととい保釈された衆院議員の秋元司被告が今夜記者会見を行いました。カジノを含む IR 事業への参入を目指していた中国企業側からおよそ 760 万円のわいろを受け取ったとして起訴されている秋元被告、今夜の会見では『賄賂の受け取りは一切ない』とする一方、体調を万全にしたうえで来月にも国会に出席する考えを明らかにしました。」

このトピックに当てられた時間は 39 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

NEWS23 週刊報告 詳細版

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

- ・ 検察官の定年延長

従来の法解釈が時の内閣によって蹂躪されようとしている今回のような事態こそ、内閣の法解釈を司る内閣法制局の存在意義を問う好機ではなからうか。